



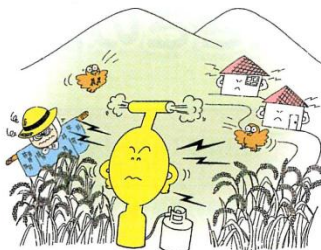
# 雀おどし爆音器使用のしおり

## 1 雀おどし爆音器使用上の注意

雀おどし爆音器については、生産者の方々が、鳥害による収量低下を防ぐため設置されていますが、一方で、騒音により、近くの住民の生活環境を損なう恐れがあります。従って、出来るだけ使用を控え、「目玉風船」、「防雀網」、「防雀テープ」等を使用するようにしてください。

やむなく雀おどし爆音器を使用する場合、次の点に注意してください。

- 1 出来るだけ住宅から離し、住宅からの距離が200m未満のところでは使用しない。
- 2 筒先を住宅に向けない。
- 3 午後7時～午前7時までは使用しない。
- 4 爆音間隔を出来るだけ長くする。
- 5 音をできるだけ小さくする。



## 2 苦情事例

雀おどし爆音器を使用する場合、その使用方法に十分注意しないと、付近の住民の生活環境を損ない、睡眠不足、ショック感による精神的疲労等の被害を与える恐れがあります。

例えば、雀おどし爆音器を夏の夜明け頃(午前6時頃)民家から10m位の地点で使用した場合、約100デシベルですから、寝ている人の耳元で大声で叫んで寝ている人をたたき起こすのと同じこととなるわけです。

具体的には、次のような苦情が申し立てられています。

- 1 朝6時から鳴り始めることにより、睡眠が阻害され、体調不良となっている。
- 2 近くを自転車で走っていた人が、音に驚き転倒した。
- 3 夏休みに孫が遊びに来てくれていたのに、雀おどし爆音器の音にビックリして昼寝もできないことから、遊びに来てくれなくなった。
- 4 音にビックリして、心臓が痛くなることがある。



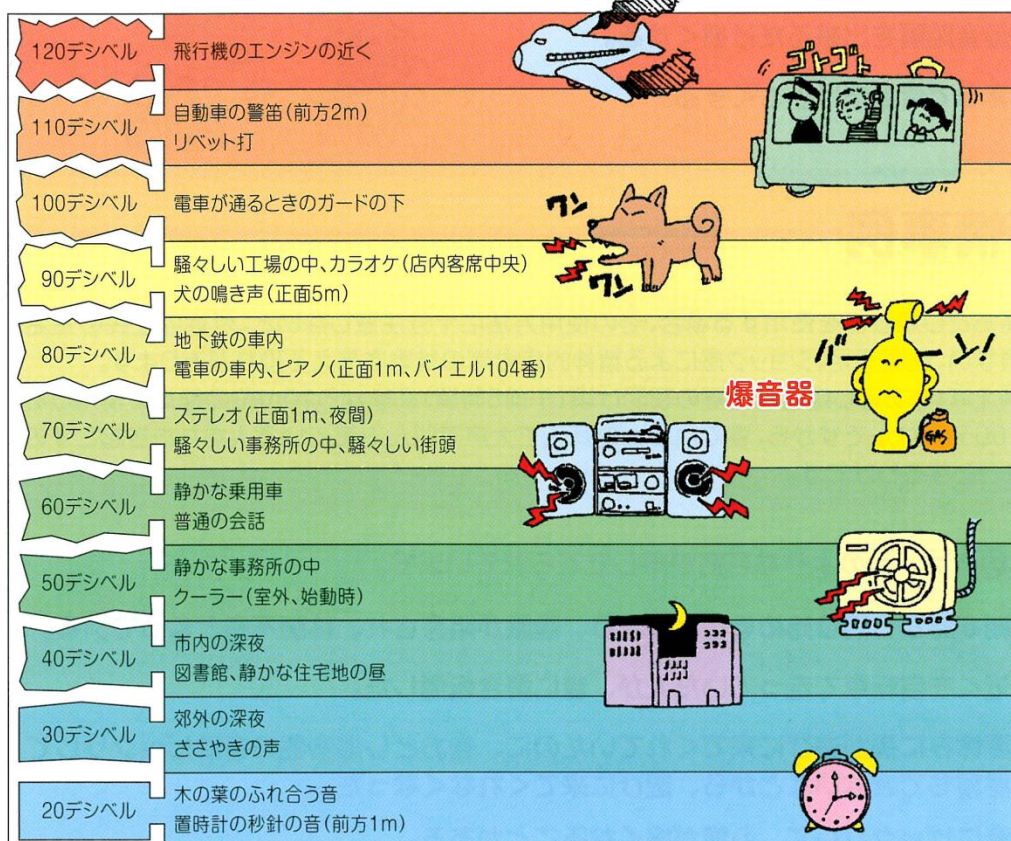


### 3 雀おどし爆音器と工場・事業場騒音の比較

表1 爆音器からの距離と騒音レベルの関係(県測定結果)

雀おどしからの距離	騒音レベル	騒音の程度例	騒音の程度
10m	100db	電車がとおる時のガードの下	会話不可能
50m	81db	電車の車内	会話困難
100m	72db	騒々しい事務所	会話に少し大きな声が必要
200m	64db	普通の会話	楽に会話できる
300m	62db	普通の会話	楽に会話できる

### 4 騒音の大きさの例



問い合わせ先